横須賀市立公郷中学校　　国語科　第1学年　2020年度　年間指導計画

担 当

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
○国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を高める。 ○国語の授業を通して、確かな学力と豊かな感性を育てる。	○日常生活に関わることなどについて、適切に書いたり、話したりすることで、考えをまとめようとする態度を育てる。 ○国語の授業を通して内容や要旨を的確にとらえる能力をつけるとともに、ものの見方、考え方を広げようとする態度を育てる。

時間	単元名 単元の目標 題材名	各観点の学習目標 国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	評価場面や資料 観点	授業の観察	提出物	プリント・ノート	単元テスト	定期テスト
	１言葉を楽しむ **○作品に表れる作者の思いや登場人物をとらえて、朗読し、国語の学習を楽しむ。** **「詩の心」「風の五線譜」**	○好きな詩を選んで、なぜその詩が好きなのか選んだ理由を発表し、お互いの意見の交流をする。			○それぞれの詩で作者が伝えようとする思いを読み取り、その思いを朗読によって表現する。	○声の大きさや読む速度、言葉の調子や間の取り方を工夫して朗読する。	関話 書読 言	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○		○ ○ ○
	「話し方はどうかな」	○筆者のものの見方や考え方を確かめながら読み、自分のものの見方や考え方を広げる。			○話し方についての筆者の考えを読み取る。 ○文章展開を確かめながら、主題を考える。	○文脈の中における語句の意味を正確にとらえる。	関話 書読 言	○ ○ ○ ○		○ ○		○ ○ ○
	2思いを捉える **「飛べ　かもめ」** **「さんちき」**	○作品を読んで、登場人物と同じような経験を話し合いながら、場面の状況や心情などを読み取り、作品を読み味わう。			○段落に着目して文章を読み、内容を理解し、構成をとらえる。 ○文章の展開に即して内容をとらえ、段落やまとまりごとに要旨をまとめる。	○段落に書かれている内容や文と文との接続関係などを使われている語句に注意してとらえる。	関話 書読 言	○ ○ ○		○ ○		○ ○ ○
	「書く」	○身近な生活の中から、書くために必要な情報をみつけ、言葉をつなげて文章化する。		○伝える目的や相手に応じて情報を選び、整理する。 ○わかりやすく伝える工夫をし、文章を書く。			関話 書読 言	○ ○	○	○		
	3分かりやすく伝える **○文章の展開の仕方について考えながら、段落の関係を捉える。** **「オオカミを見る目」**	○文章の展開のおもしろさを味わい、読書の楽しさにふれる。			○文章に表現されているものの見方や考え方を読み取る。 ○まとまりごとの要点を捉えて、要約する。	○多様な語句について理解を深め、文章中の語彙に関心を持つ。	関話 書読 言	○ ○ ○ ○		○ ○		○ ○ ○
	4考えをまとめる **○文章の展開を捉え、筆者の考えを捉える。** **「スズメは本当に減っているか」**	○文章の展開を捉える。 ○事実と筆者の考えを読み分けながら、自分の感想や意見など、まとめる。			○筆者の思いや考え方に触れ、自分のものの見方や考え方を広げる。	○作品の中の語句の意味を理解し、表現に注目して筆者の思いを捉える。	関話 書読 言	○ ○ ○ ○		○ ○		○ ○ ○

	5伝統文化に触れる **○古典の文章に出会い、昔の人のものの見方や考え方にふれ、現代とのつながりを考える。** **「古典の世界」**	○古典を学ぶことの意義や楽しさをとらえ、古典に対する興味や関心をもつ。			○「いろは歌」の特徴を理解する。 ○古典という文学作品についての意味を理解する。	○七五調のリズムを味わいながら「いろは歌」を楽しく音読・暗唱する。	関 話 書 読 言	○ ○ ○		○ ○			○ ○ ○
	「伊曽保物語」 **「竹取物語」** **「矛盾」**	○「伊曽保物語」「竹取物語」のおもしろさを味わい　古典に対する興味や関心を持つ。 ○「故事成語」とは何かを理解し、どんな言葉があるのか調べる。			○物語の展開・あらすじを理解する。 ○「矛盾」の原文を現代語訳を参考に読み、故事の内容を理解する。	○古文の仮名遣い、古語の意味を理解する。 ○故事成語について言葉の由来や意味を調べ用例を考える。	関 話 書 読 言	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○			○ ○ ○
	6表現を考える **○文章構成に着目しながら、情報の扱い方について考え、自分の意見や考えをまとめる。**	○議題について自分の考えをもち、グループのメンバーに積極的に自分の考えを伝える。	○話し合いの目的と考慮すべき点を確認する。 ○自分の意見を理由とともに話し合いの流れに沿って発言する。				関 話 書 読 言	○ ○		○			○ ○
	「ニュースの見方を考えよう」	○情報に対する接し方、筆者の見方や考え方を理解する。			○段落の役割に着目し、導入、本文、まとめや問題提起、例示、詳細な説明などの働きについて読み分け、文章構成や展開を正確にとらえる。	○情報に対する接し方と使い方を考えながら、情報収集してまとめる。	関 話 書 読 言	○ ○ ○		 ○ ○			○ ○ ○
	「話す・聞く」	○身近な生活から課題を見つけ、それについて調べ、報告する。		○自分の課題に必要な情報を集め、それから適切な材料を選ぶ。 ○事実、事柄、意見や感想を発表する。			関 話 書 読 言	○ ○ ○		 ○			
	7作品を読み解く **○作品の構成・展開に注意しながら登場人物の生き方、心情の移り変わりをとらえる。** **「少年の日の思い出」**	○作品に描かれてるものの見方や考え方を通して、自分自身について考える。			○作品の構成や展開・登場人物の心情の移り変わりを読み取る。 ○作品を読んで主題を考え、それについて自分の考えをもつ。	○優れた表現にふれることで多様な語句についての理解を深める。	関 話 書 読 言	○ ○ ○ ○		 ○ ○ ○			○ ○ ○ ○
	「学びを支える言葉の力」 **「文法への扉①②③」**	○文章の作成を通して、材料集めや構成・表現の理解を深める。 ○日常書いたり話したりしていることとを、ここでの学習と関連づけさせながら取り組む。		○身近な生活や学習の中から、伝えたい体験を選び、明確に伝えるための材料を集める。		○文章中の段落の役割や接続関係について考える。 ○言葉の単位や文の組み立てについて考える。	関 話 書 読 言	○ ○		 ○ ○			○ ○

【学習のポイント】・忘れ物をせず、提出物は期限内に必ず出す。
・授業前は準備を早めに行い、授業時は積極的に発言をし、意見の交流を活発化させる。
・家庭学習では、漢字練習やさまざまな文章を読むなど、日常生活に活かせるようにする。
＊年間指導計画を基本の流れとするが、課題テストや定期試験の範囲は進行状況によるので、その都度連絡する。
＊(授業の進捗状況にもよるが)基本的に週に1回は硬筆・毛筆の授業が入る。
＊授業の中では漢字ノートの取り組み、スピーチの取り組みを年間通して行っていく(予定)。

横須賀市立公郷中学校　社会科　第1学年　2020年度　年間指導計画

担当：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
○社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、公民としての基礎的教養を培い、平和で民主的な社会の形成者としての資質の基礎を養う。 ○社会科の授業を通して、視野を広げ、世の中の出来事と自分を結びつける力をつける。	○社会に対する関心を高め、基礎・基本を活用し、自ら考え判断する力、表現する力をつける。 ○自ら進んで学ぶ姿勢を育て、自分にあった学び方を身につけるとともに、他者と学び合う楽しさを感じる。

題材名 学習のねらい	各観点の学習目標				評価場面や資料					
	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	観点	授業の観察	提出物	ノート	課題テスト	定期テスト
＜地理的分野＞ **「わたしたちの地球と世界の地域構成」** 地球儀や地図帳を使って、地球の様々な姿・世界の地域構成についてを理解する。	世界の地域構成に対する関心を高め、追求しようとしている。	地球儀と地図の違いをとらえ、さまざまな世界地図の表し方を考え、表現する。	地球儀や地図帳を的確に使い、面積や人口、世界の国々の特色を調べる。	緯度と経度、大陸と海洋の名称や世界の主な国々の位置と名称について理解する。	関 思 技 知	◎ ○ ◎	○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「世界の人々の生活と環境」 世界各地の人々の生活の様子と変化を資料から捉え、生活環境の多様性を理解する。	世界各地には様々な生活をしている人々がいることを積極的に知ろうとしている。	自然や社会のしくみが生活環境に影響を及ぼしていることを考える。	気温と降水量のグラフから気候の特色をつかむ。	世界各地の人々の生活と環境について理解する。	関 思 技 知	◎ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「アジアの多様性と経済発展」 アジア州の地域的特色について理解し、その多様性と経済発展している国について調べる。	アジア州の歴史や文化について積極的に知ろうとしている。	アジアの国々の経済発展と、貧困がおこる原因について考え、自分の意見を述べる。	アジア州の年間降水量、人口分布、工業生産額などのグラフを活用し、説明する。	アジア州の歴史・文化・自然について理解する。	関 思 技 知	◎ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「アフリカの人々の暮らしとその変化」 アフリカ州の地域的特色について理解し、人々の暮らしと変化について調べる。	アフリカ州の歴史的な特徴、紛争が起こる原因について積極的に知ろうとしている。	現代でも続く、紛争や難民などの問題について歴史をふまえ、考え、自分の意見を持つ。	アフリカの気候・農業・工業についての資料を読み取り、課題を発表する。	アフリカの人々の暮らしとその変化について理解する。	関 思 技 知	◎ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「統合を強めるヨーロッパの国々」 ヨーロッパ州の地域的特色について理解し、地域統合の影響とその後の変化について考える。	ヨーロッパ州の歴史や文化、経済の特徴を積極的に知ろうとしている。	ヨーロッパの地域統合について様々な角度からとらえ、考えた結果を発表する。	ヨーロッパの気候、自然環境、農業、工業、地域の格差について資料をもとに比較し、適切に読み取る。	ヨーロッパの地域統合の原因と影響について理解する。	関 思 技 知	◎ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「世界に大きな影響力を持つ北アメリカ」 北アメリカの地域的特色について理解し、世界に対する影響力を工業・農業を含めた経済との関係から考える。	北アメリカ州の経済のしくみや世界への影響について意欲的に追求しようとしている。	北アメリカ州の世界に対する影響力を農業・工業・軍事力など経済との関係から考える。	北アメリカ州についての様々な資料から必要な情報を読み取り、図表などにまとめる。	北アメリカ州の世界に対する影響力を理解する。	関 思 技 知	◎ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	◎ ◎ ◎

										○	
「南アメリカの開発と環境」 南アメリカ州の地域的特色と歴史背景を理解し、自然環境と開発による影響について考える。	南アメリカ州の自然環境と開発の課題について自ら追求しようとしている。	ブラジルの森林面積の変化と影響について考える。 南アメリカの歴史と人口構成の関係を 捉え、説明する。	南アメリカ州についての様々な資料から必要な情報を読み取り、まとめる。	南アメリカ州の自然環境と開発による影響について理解する。	関 思 技 知	◎ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「他の地域と結びつくオセアニア」 オセアニア州の地域的特色を理科し、他の地域との結びつきを考える。	オセアニア州の歴史や自然、先住民の暮らしについて積極的に知ろうとしている。	ヨーロッパ諸国から日本を含めたアジアとの結びつきを強めていることを考える。	「オーストラリアの輸出国の変化」を資料から読み取り、その原因について考える。	オセアニア州と他地域の結びつきを理解する。	関 思 技 知	◎ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
＜歴史的分野＞ **「歴史の流れと時代区分」** 小学校で学んだことを活かし、歴史を学ぶ意欲を高める。様々な歴史区分があることを理解する。	日本の歴史上の人物やできごとに関心を持ち、歴史を意欲的に学ぼうとしている。	小学校で学んだことを思い出し、歴史上の人物やできごとの関係を考える。	歴史上の人物を、活躍した時代、身分や地位、業績などをテーマ別に分類する。	歴史上のできごとについて、世紀、西暦、元号、時代名などの時代区分を理解する。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「文明のおこりと日本の成り立ち」 人類の特徴を理解する。 四大文明の成り立ちからそれぞれの特徴と共通点について読み取る。	世界の古代文明や宗教などについて、意欲的に追求する。	古代文明と宗教の関係について地図や資料をもとに考える。	猿と　人類の違いを図にしてまとめる。 四大文明の特徴を表にして適切にまとめる。	人類のおこりと特徴を理解する。 中国文明が日本に与えた影響や周辺諸国との関係について理解する。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「農耕による暮らしの変化」 縄文時代から弥生時代への変化を理解する。 大陸から移住してきた人々による影響が大きいことに気づく。	縄文時代や弥生時代の人々の暮らしについて積極的に知ろうとしている。	稲作による生活の変化を様々な視点から考え、自分の考えを発表する。	縄文・弥生・古墳時代の遺跡などの資料から人々の生活の様子を読み取り、変化や違いをまとめる。	農耕の広まりによって人々の生活が変化し、国家が形成されていったことを　東アジアとの関わりを通して理解する。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「古代国家のあゆみと東アジア世界」 東アジアの影響を受けながら、日本が大陸の文化や制度積極的に取り入れ、国家のしくみが整えられたことを理解する。	大陸との交流に対する関心を高め律令国家がつくられていく過程を意欲的に知ろうとする。	聖徳太子の政治や飛鳥文化・天平文化の特徴を東アジアの影響と関連させて考える。	律令国家のしくみについて資料を活用し、図にまとめる。	日本が大陸の文化や制度積極的に取り入れ、国家のしくみが整えられたことを理解する。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「貴族社会の発展」 天皇や貴族の政治が中心になり、古代国家が発展したことと、日本独自の文化が形成されたことを理解する。	摂関政治と貴族の生活様式について意欲的に知ろうとする。	権力を持った藤原氏の気持ちを想像し、考えたことを発表する。	貴族の優雅な生活や国風文化の様子を資料から読み取り、特徴をまとめる。	天皇や貴族の政治の特徴と藤原氏が権力をにぎった背景を理解する。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「武士の台頭と鎌倉幕府」 武士の力が強まり、鎌倉幕府が成立したことと、その支配が全国に広まったことを理解すると共に、モンゴル帝国が及ぼした影響について考える。	武士の力が強まった背景とその支配について意欲的に知ろうとする。	鎌倉幕府の成立と武家政治の広まり、禅宗の影響を　様々な角度からとらえる。	武士の文化・モンゴル帝国との戦いの図を読み取る。	鎌倉幕府の成立と支配の様子や民衆への影響について理解する。	関 思 技 知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	◎ ◎ ◎
「東アジア世界の関わりと社会の変動」 室町幕府の成立、応仁の乱後の社会的な変動と戦国の	鎌倉幕府滅亡から戦国大名の出現まで、人物の生き方に注目し、時代をとら	武士や民衆の活力を背景とした新しい文化や、時代の流れを捉え、でき	室町文化に関する様々な資料から現代の生活との結びつきを発見す	室町幕府の成立と応仁の乱後の社会的な変動と戦国の動乱、産業の	関 思	◎	○ ○	○ ○	○ ○	◎

動乱、産業の発展と人々の生活の変化について理解する。	える。	ごとの原因や結果について考える。	る。	発展と人々の生活の変化について理解する。	技知				○ ○	◎ ◎
「ヨーロッパ人の出会いと全国統一」 ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的を理解し、それが日本社会に及ぼした影響について考える。	ヨーロッパ人の来航による日本社会への影響を意欲的に調べようとしている。	ヨーロッパ人が日本に与えた影響について様々な角度から考える。	ヨーロッパ人の来航による日本への影響を資料から読み取り、気づいたことをまとめる。	ヨーロッパが近世社会として発達していくと共にヨーロッパ人の来航による日本社会への影響を理解する。	関思技知	◎	○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	 ◎ ◎ ◎

【学習のポイント】

忘れ物をせず、提出物は期限内に出しましょう。きちんと手をあげて、ハキハキと発言し、他の人の意見を大切にしましょう。体・心・頭を動かし、全身で受けとめ、学習をしていきましょう。

横須賀市立公郷中学校　数学科　第1学年　2020 年度　年間指導計画　担当：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
(1)数を正の数と負の数まで拡張し，数の概念についての理解を深め，文字を用いて方程式の必要性と意味を理解し，数量の関係や法則などを簡潔に表現したり，方程式を用いたりする能力を培う。 (2)平面図形や空間図形についての観察などを通して，図形に対する直観的な見方や考え方を深めるとともに，論理的に考察し表現する能力を培う。 (3)具体的な事象を調べるなど，比例，反比例についての理解を深め，関数関係を見いだし表現し考察する能力を培う。 (4) 目的に応じて資料を収集して整理し，その資料の傾向を読み取る能力を培う.	①学習規律を基礎基本とし、そのなかで中学校での学習内容を、自ら楽しんで数学的活動に参加しようとする態度。 ②活動に参加する中で、必要な考え方や計算方法、知識を自ら習得しようとする気持ちを持つ。 ③自分の考え方と仲間の考え方の違いを認め、様々な考え方を受け入れる。また、班活動を通して積極的に意見の交流をし、考え方を取り入れていく。 （校訓:受け容れよう・話し合おう・傷つけない・自分作り）

時間	題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量、図形などについての知識・理解	観点	授業の観察	班活動・表現活動	ワークシートなど	小テスト	定期テスト
26	1章　正の数・負の数 ①正の数・負の数　②加法・減法　③乗法・除法 ④四則の混じった計算　⑤正の数・負の数の利用 ⑥数の集合と四則　⑦整数の性質	様々な事象を正の数と負の数で表すことに関心をもち，計算の方法を考えたり，具体的な場面で活用しようとしている。	正の数と負の数の必要性を理解し，四則計算の方法を考えたり，正の数と負の数を用いて事象の変化や状況をとらえることができる。	正の数と負の数の四則計算をしたり，正の数と負の数を用いて事象を式で表現したり処理することができる。	正の数と負の数の必要性や意味，四則計算の方法などを理解することができる。	関見技知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
16	2章　文字式 ①文字を使った式　②文字式の表し方 ③式の値　④一次式の計算　⑤文字式の利用	様々な事象を文字や文字式で表すことに関心をもち，文字式の計算の方法を考えたり，文字式の意味を読み取ろうとする。	事象の中の数量の関係を読み取って文字式で表す方法を考えたり，文字式の計算の方法を考えることができる。	数量の関係を文字式で表したり，式の意味を読み取ったりしようとしていたり，文字式の計算をすることができる。	文字を用いることの必要性や意味，文字式の計算の方法などを理解することができる。	関見技知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
18	3章　1次方程式 ①等式と不等式　②方程式 ③等式の性質　④一次方程式の解き方 ⑤一次方程式の利用　⑥比例式	等式や不等式及び方程式に関心をもち，1元1次方程式の解き方を考えたり，方程式を問題の解決に生かそうとしている。	数量の相等関係や大小関係をとらえ等式や不等式をつくったり，1元1次方程式の解き方や活用の仕方を考えることができる。	数量の関係を等式や不等式で表したり，簡単な1元1次方程式や比例式を解くことができる。	方程式の必要性や意味，等式の性質や1元1次方程式の解き方などを理解することができる。	関見技知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
18	4章　比例と反比例 ①関数　②比例　③座標と比例のグラフ ④反比例　⑤反比例のグラフ ⑥比例と反比例の利用	様々な事象を比例，反比例などでとらえたり表・式・グラフで表すことに関心をもち，問題の解決に活用しようとしている。	比例や反比例の表，式，グラフなどを相互に関連付けてそれらの特徴を考えたり，事象の中にある比例や反比例などの関係をとらえることができる。	比例，反比例などの関数関係を表，式，グラフなどを用いて表現したり，数学的に処理することができる。	関数関係の意味，比例や反比例の意味，比例や反比例の関係を表す表，式，グラフの特徴などを理解することができる。	関見技知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
16	5章　平面図形 ①直線と角　②円　③基本の作図 ④作図の利用　⑤図形の移動	図形の移動や作図に関心をもち，平面図形の考察や問題の解決に生かそうとしている。	作図の方法を見通しをもって考えたり，作図を具体的な場面で活用する方法を見いだすことができる。	定規やコンパスなどを使って図形を移動したり，基本的な作図することができる。	平面図形の基本的な性質，平行移動や回転移動及び対称移動，基本的な作図の方法などを理解することができる。	関見技知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
17	6章　空間図形 ①いろいろな立体　②直線や平面の位置関係 ③面が動いてできる立体　④立体の投影図・展開図 ⑤立体の表面積・体積　⑦球の表面積と体積	空間図形に関心をもち，立体の特徴，直線や平面の位置関係，立体の体積や表面積の求め方などを考えようとしている。	空間図形の性質を見いだしたり，立体の体積や表面積の求め方を見通しをもって考えることができる。	空間図形を見取図，展開図，投影図によって適切に表現したり，図形の計量をすることができる。	空間における図形の位置関係や図形の計量の仕方などを理解することができる。	関見技知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎
12	7章　資料の活用 ①代表値　②資料の整理 ③相対度数　④累積度数 ⑤資料の活用　⑥ことがらの起こりやすさ	様々な事象についての資料を収集・整理し，ヒストグラムや代表値などを用いてその傾向を読み，それらを活用しようとしている。	ヒストグラムや代表値などを適切に用いて，資料の傾向を読み取ったりそれを説明することができる。	資料を整理して度数分布表やヒストグラムを用いて表したり，代表値を求めることができる。	ヒストグラムや代表値の必要性と意味，相対度数の必要性と意味，誤差や近似値の意味などを理解することができる。	関見技知	○	○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ◎ ◎ ◎

【学習のポイント】 ①毎時間の授業を大切にし、自ら考え、参加する姿勢を持つ。 ②クラスの仲間とともに協力して考える姿勢を持ち、他を受け容れ、自分の意見も伝える。
③学習したことを定着させるために、ワークなどを用いて問題演習を行い、自らの学習の定着を図ろうと努力する。

横須賀市立公郷中学校　　理　科　第1学年　2020年度　年間指導計画

担 当 ：

学 び の 目 標	学 年 と し て 大 切 に し て 欲 し い 姿
① 自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験を行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。 ② 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。	① 自然の事物・現象に興味を持ち、生活と結びつけよう。 ② 基礎的な原理・原則を理解し、授業に積極的に参加しよう。 ③ 家庭学習を充実させ、徹底的に復習しよう。

時間	題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	評価場面や資料 観点	授業の観察	定期テスト	課題テスト	レポート	提出物
30	単元1　植物の生活と種類 身近な植物、動物などについての観察、実験を通して、生物の調べ方の基礎を身に付けるとともに、植物の体のつくりと働きを理解し、植物の生活と種類についての認識を深める。	生物の観察、植物と動物の体のつくりや事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究するとともに、生命を尊重し、自然華儀の保全に寄与しようとする。	生物の観察、植物と動物の体のつくりとはたらきや事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識を持って観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	生物の観察、植物と動物の体のつくりとはたらきや事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	観察や実験などを行い、植物と動物の体のつくりとはたらきや事物・現象について基本的な概念、多様性や規則性を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○
25	単元2　物質のすがた 身の回りの物質についての観察、実験を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解するとともに、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身につける。	物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究するとともに、事象を日常生活とのかかわりでみようとする。	物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識を持って観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	観察や実験などを通して、物質のすがた、水溶液、状態変化に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○
25	単元3　身近な物理現象 身近な事物・事象についての観察、実験を通して、光や音の規則性、力の性質について理解するとともに、これらの事物・現象を日常生活や社会と関連付けて科学的にみる見方や考え方を養う。	光と音、力と圧力に関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究するとともに、事象を日常生活とのかかわりでみようとする。	光と音、力と圧力に関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	光と音、力と圧力に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身につけている。	観察や実験などを通して、光と音、力と圧力に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○
25	単元4　大地の変化 大地の活動の様子や身近な岩石、地層、地形などの観察を通して、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関連付けて理解し、大地の変化についての認識を深める。	火山と地震、地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象に進んでかかわり、それらを科学的に探究するとともに、自然環境の保全に寄与しようとする。	火山と地震、地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	火山と地震、地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	観察、モデル実験などを行い、火山と地震、地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象についての基本的な概念や規則性、関連性などを理解し、知識を身に付けている。	関 科 技 知	◎ ◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎	○	○ ◎ ◎ ○	◎ ○ ○ ○

【学習のポイント】

※ テーマを意識して授業に前向きに臨もう。

※ 習得した知識は、プリントなどで定着させよう。

※ 提出物は期限までに完成させて提出しよう。

横須賀市立公郷中学校　音楽科　第1学年　2020年度　年間指導計画

担当:

学びの目標	学年として大切にしてほしい姿				評価場面や資料				
○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する 心情を育てると共に、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	(1)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 (2)多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。 (3)多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。 (4)豊かな心と主体的に行動できる力を育てる。				観点	授業観察	実技試験	定期試験	ワークシート
題　材　名 学　習　の　ね　ら　い	各観点の学習目標 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力					
オリエンテーション 校歌(鑑賞)	曲想や歌詞の内容に関心をもって鑑賞しようとしている。			歌詞の内容や曲想の変化などを意識して、楽曲を聴いている。	関 創 技 鑑	◎ ◎		○ ○	◎ ◎
リズムアンサンブルをしよう ・様々なリズムを知り、表現を工夫してアンサンブルをする。	様々なリズムに関心を持ち、工夫して表現する学習に主体的に取り組もうとしている。	音色・速度・強弱などの表現を工夫し、どのようにアンサンブルするかについて思いや意図を持っている。	テンポに合わせてリズムを取り、手拍子などで表現したいリズムアンサンブルをするための技能を身につけている。	様々なリズムがあることを知り、それらのリズムが合わさったり、変化、反復させることで生じる音楽の良さや面白さを味わっている。	関 創 技 鑑	◎ ○ ◎ ◎	○ ◎ ◎ ○	○ ○ ○ ◎	◎ ○ ○ ◎
情景(イメージ)と結びついた音楽表現を聴き取ろう 春 ・情景と音楽の結びつきを理解しイメージする。	音楽を形作っている要素や構造と曲想との関わりに関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。			音楽の要素、構造、曲想を感じ取って言葉で説明するなど、音楽の良さや美しさを味わっている。	関 創 技 鑑	○ ○ ○ ○		○ ◎	◎ ◎
アルトリコーダーに親しもう よろこびの歌 ・アルトリコーダーの基本的な所作や奏法を身につける。	楽器の特徴に関心をもち、基礎的な奏法で演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	楽器の特徴をとらえた音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	楽器の特徴をとらえた音楽表現をするために、必要な基本的な運指や奏法を身につけている。		関 創 技	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ◎
曲想の変化を活かして表現しよう 青空へのぼろう ・様々な曲を知り、その特徴を活かして表現する。	曲想の変化に関心をもち、それを生かして音楽表現を工夫して学習に主体的に取り組もうとしている。	曲想の変化を感じ取り、それを生かしながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するか思いや意図をもっている。	曲想の変化を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。		関 創 技	◎ ◎ ◎	○ ◎ ◎		
詩と音楽の関わりを感じ取ろう 夏の思い出・赤とんぼ・魔王 ・歌詞の内容を味わい理解し表現したり鑑賞する。	歌詞の内容や言葉の特性(抑揚、アクセントなど)に関心をもち、表現を工夫したり鑑賞しようとしている。	歌詞の内容や言葉の特性、曲想を感じ取って表現したり鑑賞しようとする、思いや意図をもっている。	歌詞の内容や言葉の特性、曲想を生かした音楽表現に必要な技能を身につけている。	歌詞の内容や言葉の特性、曲想の変化などを意識して、楽曲を聴いている。	関 創 技 鑑	◎ ○ ◎ ○	○ ◎ ◎	○ ○ ○ ◎	◎ ◎
創作しよう 歌詞にあったリズム創作	言葉や音階、リズムに関心をもち音楽表現を工夫して簡単なリズムを作ることに主体的に取り組んでいる。	言葉や音階、リズム、反復、変化、対照など構成を生かし工夫して、音楽を作る思いや意図をもっている。	言葉や音階、リズムなどの特徴を生かした表現をするために、必要な技能を身につけて旋律を作っている。	言葉や音階、リズム、反復、変化、対照など構成を理解し、創作したリズムや実技発表を聴いている。	関 創 技 鑑	◎ ○ ○ ○	○ ○ ◎	○ ○ ○ ○	◎ ◎ ○ ○
合唱しよう 卒業式に向けての取り組み	声部の役割や全体の響きに関心を持ち表現を工夫して、合わせて歌う学習に主体的に取り組んでいる。	声部の役割や全体の響きを感じ取るなどして表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	声部の役割や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。		関 創 技	◎ ◎	○ ◎ ◎	○ ○ ○	◎ ○

【学習のポイント】①忘れ物をしないように、授業の道具をきちんとそろえよう。　②授業をよく聞き、1時間1時間を大切にしよう。
③あきらめず、前向きに、積極的に、実技に取り組もう。　④互いに教え合い、学びあいながら、学習を深めよう。

横須賀市立公郷中学校　　美術科　第１学年　2020年度　年間指導計画

学びの目標	○学年として大切にして欲しい姿
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して，美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに，感性を豊かにし，美術の基礎的な能力を伸ばし，美術文化についての理解を深め，豊かな情操を養う。	(１)楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い，心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 (2)対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め，豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身に付け，意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 (3)自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ，美術文化に対する関心を高め，よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

題材名 学習のねらい	各観点の学習目標				評価場面や資料					
	関心･意欲･態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	観点	授業の観察	作品	ワークシート	振り返りシート	定期テスト
オリエンテーション　図画工作…美術へ 小学校図画工作科の学習経験などについて話し合い，これからの美術学習とのつながりについて考える。自分が「美術」だと考えるものの例を持ち寄って意見を交換する活動などを通して，美術のもつさまざまな意義について考え，美術に対する自分の見方，考え方を育てる。	造形的なよさや美しさ，対象のイメージなどを主体的に感じ取ろうとしている。			造形的なよさや美しさ，対象のイメージなどを感じ取り，自分の思いや考えをもって味わっている。	鑑	○		○ ○		○ ○
見て描く楽しみ 身近なものの中に潜む美に気づき，愛着をもって描こうとする気持ちを育成するとともに,用具の使い方の習得など,表現するために必要な基礎的な力を身につける。 スケッチすることを通して自分の感じ方で形を捉え，色を試しながら工夫してあらわす力を育てるとともに,描いた作品を展示したり鑑賞したりして，生活の中に美術があることの意義を体験する。	スケッチを通して感じたままにあらわすことを楽しむ。	身近なものを見つめ，感じ取ったことを大切にする。	材料や用具の生かし方を考え，工夫してあらわす。	お互いの作品を鑑賞し，意図や工夫した点を話し合う。	発技鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
デザインの扉を開こう 目的や条件などを基に，身近なものの形や色彩の美しさなどをとら えて構成や装飾を考え，着彩などを工夫してデザインする。 主な学習活動の流れ ○目的や条件を基に自分のテーマを考える。 ○スケッチなどにより形の特徴をとらえ，単純化するなどして構成 を考える。 ○効果を考えながら彩色をする。 ○作品を鑑賞し，作者の意図や工夫について話し合う。	身近なものの形や色彩の特徴をとらえ，美しく構成することに関心をもち 主体的に創意工夫して表したり，表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	目的や条件などを基に，形や色彩の効果を生かして構成や装飾を考え，表 現の構想を練っている。	表したいイメージをもちながら意図に応じて描画材料の特性を生かし，着 彩の順序などを考え創意工夫して表現している。	構成や装飾の目的と形や色彩などの美しさの調和，見る人に対する作者の心づかい，生活の中のデザインの働きなどを感じ取り，自分の思いや考えをもって味わっている。	発技鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ◎ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
記憶に残るマーク･ピクトグラム 伝えたい内容を基に象徴するものや形や色彩の効果を考え，材料や 用具などを工夫してマークをデザインする。	マークのデザインに関心をもち，主体的に創意工夫して表したり，表現の 工夫などを感じ取ったりしようとしている。	イメージが伝わるように，象徴するものなどを用いて形や色彩の効果を生 かしてわかりやすさや美しさなどを考え，表現の構想を練っている。	表したいマークのイメージをもちながら意図に応じて描画材料の特性を生 かし，制作の順序などを考え創意工夫して表現している。	伝えることと形や色彩などの美しさの調和，伝える人に対する作者の心づかい，生活の中のデザインの働きなどを感じ取り，自分の思いや考えをもって味 わっている。	発技鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ◎ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
身近なものを立体で表そう 自然物や身近にあるものを見つめ，形や色彩，質感などの特徴など から主題を生み出し，構成や材料，用具を工夫して立体で表現する。 主な学習活動の流れ ○対象物をよく見て，スケッチをするなどして特徴をとらえ，主題を生み出す。 ○対象物の質感に応じた素材を選択し，量感などが表れるように立 体的に表現する。 ○対象物の色彩をよく観察し，様々な技法などを用いて彩色する。 ○作品を鑑賞し，作者の意図や工夫について話し合う。	身近なものの立体表現に関心をもち，主体的に創意工夫して表したり，表 現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	対象を見つめ感じ取った形や色彩，質感の特徴や美しさなどを基に主題を 生み出し，創造的な構成を工夫し，構想を練っている。	表したい対象のイメージをもちながら意図に応じて粘土や絵の具などの特 性を生かし，形成や着彩の順序などを考え創意工夫して表現している。	造形的なよさや美しさ，対象物のイメージ，主題と表現の工夫などを感じ 取り，自分の思いや考えをもって味わっている。	発技鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ◎ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
自然とともにある日本の美 日本美術において自然がどう描かれてきたかを，形や色彩，特徴からイメージしたことなどから捉えさせ，話し合わせる。	自然や季節の美しさを取り入れた日本の美術に関心をもつ。			形や色などの使い方に注目して，作品の世界を味わう。	発技鑑	○ ○ ○		○ ◎	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
一枚の紙から広がる世界 目的や条件を基に，紙の加工方法や美しい構成を考え，材料や用具 などを工夫してデザインする。 主な学習活動の流れ ○紙を折ったり，切ったり，組み合わせたりする中から，美しい形 を見出す。 ○目的や条件を基に美しい構成などを考え，紙の特性を生かして制 作する。 ○作品を鑑賞し，作者の意図や工夫について話し合う。	紙の加工方法や効果に関心をもち，主体的に創意工夫して表したり，表現 の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	目的や条件などを基に，紙の加工方法や，形，色彩の効果を生かして，構 成や装飾を考え，表現の構想を練っている。	表したいイメージをもちながら意図に応じて紙や用具の特性を生かし，制 作の順序などを考え創意工夫して表現している。	目的や条件と形の美しさの調和，見る人に対する作者の心づかいなどを感じ取り，自分の思いや考えをもって味わっている。	発技鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ◎ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
文字がしゃべりだす イメージや伝えたい内容が相手にわかりやすく印象に残るよう，形 や色彩，構成を考え，材料や用具などを工夫して文字をデザインす る。 平面や立体の絵文字を，意外な発想やユーモアなどを生かしてつくる。 文字のもつ意味と視覚的な形の可能性を探究し，見る人に強い印象を与える文字をデザインする中で，感情や必要な情報を伝えるデザインの働きを学ぶ。 主な学習活動の流れ ○身近にあるデザインされた文字を鑑賞し，形や色彩から受ける印 象やその違いについて考える。 ○伝えたい内容を基に，文字の形や色彩の効果を考えてデザインす る。 ○作品を鑑賞し，作者の意図や工夫について話し合う。	絵文字などの伝達表現に関心をもち，主体的に創意工夫して表したり，表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。 楽しく情報を伝える文字に関心をもつ。	文字の意味やイメージが伝わるように，文字の形や色彩の効果などを生かして楽しさやわかりやすさなどを考え，表現の構想を練っている。 文字の形や意味などから発想を自由に広げる。	表したい文字のイメージをもちながら意図に応じて描画材料や加工粘土などの特性を生かし，制作の順序などを考え創意工夫して表現している。 材料や用具の生かし方を考え，工夫してあらわす。	伝えたい文字のイメージと形や色彩などの美しさの調和，伝える人に対する作者の心づかい，生活の中のデザインの働きなどを感じ取り，自分の思いや考えもって味わっている。 お互いの作品を鑑賞し，意図や工夫した点を話し合う。	発技鑑	○ ○ ○	◎ ◎ ◎	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○

【学習のポイント】
・目的や条件を基に自分でテーマを考える。
・用具の使い方の習得など,表現するために必要な基礎的な力を身につける。
・自分の感じ方で形を捉え，色を試しながら工夫してあらわす。

横須賀市立公郷中学校　保健体育科　第１学年　２０２０年度　年間指導計画

担当：

学びの目標	学年として大切にしてほしい姿				評価場面や資料			
体育や保健の見方・考え方を働かせ，課題を発見し，合理的な解決に向けた学習過程を通して，心と体を一体として捉え，生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	保健体育科では、生徒一人一人の力を伸ばし、活かしていくことを目指して学習を進められるように考えている。また、生徒の個性を活かし、生涯にわたって 運動に親しみ、運動に積極的に取り組んでいって欲しいと考えている。そのため、単に運動技能に優れていることがよいということばかりでなく、学習に取り組む姿勢や運動・健康について考えていくことなども大切な要素としてとらえている。				観察	学習カード	ノート プリント	定期テスト
題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 関心(25%)	思考・判断(25%)	運動の技能(25%)	知識・理解(25%)				
「体つくり運動」 体を動かす楽しさや心地よさを味わい，体つくり運動の意義と行い方，体の動きを高める方法などを理解するとともに，目的に適した運動を身に付け，組み合わせることができるようにする。	体つくり運動に積極的に取り組むとともに，仲間の学習を援助しようとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとすること，話合いに参加しようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる		体を動かす楽しさや心地よさを味わい，体つくり運動の意義と行い方，体の動きを高める方法などを理解し，目的に適した運動を身に付け，組み合わせることができる。	関◎ 思○	思◎ 知○		思○ 知◎
「陸上競技」　短距離走 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方などを理解し，基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。	短距離走に積極的に取り組むとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	動きなどの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，基本的な動きや効率のよい動きを身に付けること。 短距離走では，滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせることができる。	陸上競技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「球技」　ソフトボール 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	ソフトボールに積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。 ベースボール型では，基本的なバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。	球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「水泳」 「水泳の事故防止に関する心得」 体の調子を確かめてから泳ぐ， プールなど水泳場での注意事項を守って泳ぐなどの健康・安全の心得を理解できるようにする。	水泳の事故防止に関する心得など健康・安全についての学習に自主的に取り組もうとしている。			水泳の事故防止に関する心得など健康・安全について理解している。				知◎

「器械運動」　マット運動 技ができる楽しさや喜びを味わい，器械運動の特性や成り立ち，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに，技がよりよくできるようにする。	マット運動に積極的に取り組むとともに，よい演技を認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	技などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	技ができる楽しさや喜びを味わい，技をよりよく行うことができる。マット運動では，回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行うこと，条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。	器械運動の特性や成り立ち，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「陸上競技」　リレー 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方などを理解し，基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。	リレーに積極的に取り組むとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	動きなどの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，基本的な動きや効率のよい動きを身に付けること。 リレーでは，滑らかな動きで速く走ることやバトンの受渡しでタイミングを合わせることができる。	陸上競技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「ダンス」　現代的なリズムのダンス 感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい，ダンスの特性や由来，表現の仕方などを理解するとともに，イメージを捉えた表現や踊りを通した交流ができるようにする。	ダンスに積極的に取り組むとともに，仲間の学習を援助しようとすること，交流などの話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じた 表現や役割を認めようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	表現などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。	感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい，イメージを捉えた表現や踊りを通した交流をすることができる。 現代的なリズムのダンスでは，リズムの特徴を捉え，変化のある動きを組み合わせて，リズムに乗って全身で踊ることができる。	ダンスの特性や由来，表現の仕方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「球技」　バレーボール 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	バレーボールに積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。 ネット型では，ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。	球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「武道」　柔道 技ができる楽しさや喜びを味わい，武道の特性や成り立ち，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに，基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができるようにする。	柔道に積極的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方 を守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違 いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどや，禁じ技を用いないな ど健康・安全に気を配ろうとしている。	攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができる。	技ができる楽しさや喜びを味わい，基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開することができる。 柔道では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防をする。	武道の特性や成り立ち，伝統的な考え方，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎

「球技」　ハンドボール 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	ハンドボールに積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどや，健康・安全に気を配ろうとしている。	攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームを展開すること。 ゴール型では，ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。	球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解する。	関◎ 思○ 技◎	思◎ 知○		思○ 知◎
「体育理論」運動やスポーツの多様性 体育分野における運動の実践や保健分野との関連を図りつつ，豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。 (ｱ) 運動やスポーツは，体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性及び競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたこと。 (ｲ) 運動やスポーツには，行うこと，見ること，支えること及び知ることなどの多様な関わり方があること。 (ｳ) 世代や機会に応じて，生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには，自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり，工夫したりすることが大切であること。	運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組もうとしている。	運動やスポーツが多様であることについて，自己の課題を発見し，より よい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることができるようにする。		運動やスポーツが多様であることについて，課題を発見し，その解決を 目指した活動を通して，次の事項を身に付ける。	関◎ 思○		思◎ 知○	思○ 知◎
「保健」　「健康な生活と疾病の予防」 「心身の機能の発達と心の健康」 健康な生活と疾病の予防について，課題を発見し，その解決を目指した 活動を通して，次の事項を身に付けること。 心身の機能の発達と心の健康について，課題を発見し，その解決を目指 した活動を通して，次の事項を身に付けること。	健康な生活と疾病の予防について関心をもち，学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 心身の機能の発達と心の健康ついて関心をもち，学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	健康な生活と疾病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し，疾病等のリスクを軽減したり，生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え，適切な方法を選択し，それらを伝え合うことができるようにする。 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し，疾病等のリスクを軽減したり，生活の質を高めたりすることなどと関連付けて，解決方法を考え，適切な方法を選択し，それらを伝え合うことができるようにする。		健康は，主体と環境を良好な状態に保つことにより成り立っていること，また，健康が阻害された状態の一つが疾病であることを理解できるようにする。 心身の機能の発達と心の健康について理解できるようにする。	関◎ 思○		思◎ 知○	思○ 知◎

横須賀市立公郷中学校　　家庭科　第1学年　2020度　年間指導計画

担当：

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿
衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通じて、生活の自立に必要な基礎的、基本的知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。	○　自分の生活をチェックして、自分なりの課題をみつけ、生活をよりよくしていく意欲をもつ。 ○　自分の生活を豊かにするための知識や技能を積極的に身に付けようとする姿。 ○　生活の中で関わる家族・仲間・地域の方々への思いやりを忘れない姿。

時間	題材名 学習のねらい	各観点の学習目標 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	知識・理解	評価場面や資料 観点	授業の観察	ワークシート	作品	定期テスト
1	自分の成長と家族 小学校家庭科の学習を踏まえ、中学校家庭科の3年間の見通しを持つ。	自分の成長や生活は家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気づいている。	家庭と家族関係について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。			関	○	○		
						工		○		
						技				
						知				
10	私たちの食生活 自分の食生活に関心を持ち、食事の役割や食問題について理解を深める。安全と衛生に気を付けながら、食品や調理用具を適切に扱える。	中学生の望ましい食生活と課題について関心を持ち、自分の食事と関連させて考えようとしている。	中学生の食生活について課題を見付けて、その解決を目指して工夫している。	調理に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	中学生の食生活について理解し、基礎的・基本的な知識を身につけている。	関	○	○		
						工		○		
						技	○		○	
						知			○	○
10	布を用いた生活の工夫 布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。また、製作に関する基礎的・基本的な技能を身につける。	布を用いた物の製作に関心を持って取り組み、自分や家族の生活を豊かにしようとしている。	衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について自分なりに工夫をしている。	安全で効率よく、布を用いた物の製作をすることができ、目的に応じた縫い方ができる。	布を用いた物の製作に関する知識を身に付けている。	関	○	○		
						工		○		
						技	○		○	
						知			○	○
5	住まいの工夫 家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について理解する。住まいの工夫について関心もち、自身の生活を豊かにする工夫を考える。	自分や家族の住空間や、環境に応じた住まいの工夫について関心を持って取り組んでいる。	安全で快適な住まいについて課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	安全で快適な住まいについて課題を解決することができる	住居の基本的な機能や、各地の住まいの工夫について理解している。	関	○	○		
						工		○		
						技			○	
						知				○
10	バランスのとれた食事 ①　身近な食品を栄養的な特徴により6つの食品群に分類できる。 ②　食品群別摂取量の目安と1日に必要な食品の種類と概用を知る。	中学生の1日分の食事の摂り方に関心を持ち、必要な栄養量を満たす食事の摂り方をしようとしている。	中学生の1日分の献立について課題を見つけて、必要な栄養量を満たすために料理や食品の組み合わせについて考え、工夫している。	中学生の1日分の食事の摂り方に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、献立をたてることができる。	中学生に必要な栄養量を満たす1日分の献立の立て方について理解している。	関	○	○		
						工		○		
						技				
						知				○

【学習のポイント】

- 1週間に1時間という少ない授業です。毎授業を大切に取り組みましょう。
- 家庭学習もしっかりと取り組み、内容の理解度や興味関心を高めましょう。
- 学習を自分の生活で活かし、自ら進んで豊かな生活を目指す“心”を磨きましょう。

横須賀市公郷中学校　技術科　　第1学年　2020年度　年間指導計画

担当:

学びの目標	学年として大切にして欲しい姿	評価の場面や資料
ものづくりなどの実践的・体験的な活動を通して、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し、活用する能力と態度を育てる。	○自ら学ぶ姿勢 　勉強をさせられてするのではなく、自分から学ぼうとする姿勢 ○ものを大切にする心 　ものづくりを通してものを大切にする心を持ってほしい。ものを大切にすることは人を大切にすることにつながります	観点 授業の観察 作品 ワークシート 定期テスト

時間	題材名 学習のねらい	観点別の学習目標 生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解					
3	ガイダンス ・技術とは何か ・技術室の使い方	特別教室を正しく使おうとしている。				関工技知	○			
5	技術とものつくり	生活や産業の中で用いられている技術に関心をもち技術が果たしている役割について考えようとしている。	・技術を適切に使う方法について調べ，自らが工夫できることを考えている。	・自らが実践できる省資源や環境保全の方法を　調べ，選択することができる。	・ものづくり技術や情報技術の発達と生活の変化について知り，技術の果たす役割を理解している。	関工技知	○	○	○ ○	
8	材料と加工	・同じ用途の製品でも形や構造に違いがあることを発見し，その理由を考えようとしている。・身の回りの製品に使われている材料に関心をもち，その特徴の違いを比較しようとしている。	・自らが構想したものの形を図で表すための工夫をしている。 ・製作品の機能を目的にあわせて向上させるために工夫をしている。	・製作品の目的にあった材料を選択することができる。 ・製作品の機能や構造を考えた設計をすることができる。	・製作品の構造をじょうぶにする方法と接合方法について理解している。 ・製作品に用いる材料の特徴と利用方法についての知識を身に付けている。	関工技知	○	○	○ ◎ ○	○
19	製品の製作	目的や条件に応じて，工具や機器を適切に活用しようとしている。	製作する際に，工具の使い方を工夫している。	・材料取り，部品加工，組立て，接合及び，仕上げをすることができる。 ・工具や機器を安全に使用できる。	・基本的な工具の仕組みと効果的な使用方法の関係について理解している。 ・製作品に適した加工行程と加工技術に関する知識を身に付けている。	関工技知	○ ○ ○	○ ◎	○	◎

【学習のポイント】

・技術室での授業では、必ず体操服・ジャージを着用すること。　安全第一で作業をしましょう。

・技術の授業は1週間に1回しかありません。これから生きていく上で知っておいてほしい知識を学びます。1回1回の授業を大切にしましょう。

横須賀市公郷中学校　技術科　　第1学年　2020年度　年間指導計画

横須賀市立公郷中学校　英語科　第1学年　2020年度　年間指導計画

担当者名：

学びの目標	1学年として大切にしてほしい姿						評価場面や資料					
○外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。 ○コミュニケーション能力を高め主体的に行動できる力を育てる。	○初歩的な英語を聞いて、話し手の意向などを理解できるようにする。 ○初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを話すことができるようにする。 ○英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。 ○英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。						観点	授業観察	パフォーマンス	ワークシート	小テスト	定期テスト
題材名 学習のねらい	各観点の学習目標											
	関心・意欲・態度	表現の能力		理解の能力		言語や文化についての知識理解						
		話す	書く	聞く	読む							
Hi, English！1【一日のあいさつ・教室で使う英語】 Hi, English！2【身のまわりのものを英語で言おう】 Hi, English！3【数字・曜日と時間割・誕生日・好きな食べ物、飲み物・できること】 Unit 0 アルファベット 学び方コーナー① 単語の書き方	・英語で簡単な挨拶を行おうとしている。 ・積極的に自己紹介をしたり、相手の自己紹介を聞こうとし ている。	・英語で初歩的な挨拶ができる。(やりとり) ・身の回りの物を正しく発音できる。	・アルファベットの大文字と小文字を正しく書ける。	・身の回りの物事の 名詞を正しく聞き 取ることができる。 ・教室で使う英語を聞き取り、動くことができる。	・アルファベットを正しく読める。	・アルファベットの順序、発音について正しい知識を身につけている。 ・単語を書くときの正しいルールが分かる。	関表理言	○ ○	○○	○○	○○	○○○
Unit 1 はじめまして ・自己紹介をすることができる ・相手のことについてたずねることができる 学び方コーナー② 文の書き方 Unit 2 学校で ・近くのものや遠くのものについてはなしたり、たずねたりすることができる ・初対面の2人を互いに紹介することができる まとめと練習① be動詞 学び方コーナー③ 辞書の使い方1	・積極的に自己紹介をしたり、相手の自己紹介を聞こうとしている。・聞き手にわかりやすい音量で積極的に話そうとしている。	・自分の名前、出身 地等について英語で表現できる。 ・適切に応じることができる。・持ち物を説明したり、近くのものや遠くのものについてたずねることができる。 ・人を紹介することができる。(やりとり))	・単語、文を正しく書 ける。 ・This / Thatの用法を正しく理解し、英文で書くことができる。	・自然なスピードで話される自己紹介文の大切な部分を正しく聞き取る・相手が言ったことを正しく聞き取り、理解できる。	・be動詞を使った英文を理解する。・This / That を使った英文を理解する。 ・He / She is~を使った英文を理解する。	・be動詞の肯定文、疑問文、否定文の文構造について正しく理解している。 ・ルールが分かる。This / Thatの用法に ついて正しく理解している。 ・He/ She is~の用法について正しく理解している。	関表理言	○	○○	○ ○	○○	○○○
Unit 3 わたしの好きなこと ・自分の好きなことについて話すことができる ・相手の好きなことについてたずねることができる	・多くの人から情報を得ようとして積極的に話しかけている。	・好きなことについて 話したり質問をしたり することができる。さ らに質問を続けることができる。(やりとり)	・like, study, play などを正しく理解し、doを用いた疑問文、don'tを用いた否定文を書くことができる。	・相手が言ったことを正しく聞き取り、理解できる。	・like,study,playなどを使った文で書かれている内容を読んで正しく理解する。	・一般動詞の用法について正しく理解している。	関表理言	○	○○	○ ○	○○	○○○
Unit 4 ホームパーティー ・ものの数を数えたり、たずねたりすることができる。 ・相手に何かを指示したり、提案することができる。 学び方コーナー④ 辞書の使い方2 Presentation 1 自己紹介をしよう ・3文以上で自己紹介することができる。	・わからないことがあっても聞き返すなどして聞き続けようとしている。	・複数(2つ以上)のものを伝えたり、たずねたりすることができる。(やりとり)) また、「いくつ」と数をたずねることができる。 ・指示をしたり提案をすることができる。 ・3文以上で自己紹介をすることができる。	・名詞につけるs(es)、how manyの文、提案するときのLet's~を用いた文を書くことができる。 ・既習事項を用いて、3文以上で自己紹介を書くことができる。	・相手が言ったことを正しく聞き取り、理解できる。	・名詞につけるs(es)、how manyの文、提案するときのLet's~を用いた文で書かれている内容を読んで正しく理解する。	・名詞につけるs(es)、how manyの文、提案するときのLet's~を用いた文について正しく理解している。	関表理言	○	○○	○ ○	○○	○○○

Unit 5 学校の文化祭 ・自分が知らないものなどについてたずねることができる。 ・ものの性質や状態などについて話すことができる。 体調をたずねる ・相手の体調をたずねたり、自分の体の不調について説明したりできる。 Unit 6 オーストラリアの兄 ・自分と相手以外の人やものなどについて話すことができる。 ・自分と相手以外の人やものなどについてたずねることができる。 電話の会話 ・電話で相手を招待したり、誘ったりする対話をすることができる。	・わからない語句があっても読み進めようとしている。 ・ヒントを聞き、話を聞き続けようとしている。	・whatを用いた疑問文や形容詞を用いて感想を伝えることができる。 ・三人称単数現在形のs(es)を用いた文、doesを用いた疑問文、doesnotを用いた否定文で伝えることができる。	・whatを用いた疑問文や形容詞を用いた文を書くことができる。 ・三人称単数現在形のs(es)を用いた文、doesを用いた疑問文、doesnotを用いた否定文を書くことができる。	・相手が言ったことを正しく聞き取り、理解できる。 ・相手が言ったことを正しく聞き取り、理解できる。	・whatを用いた疑問文や形容詞を用いた文で書かれている内容を読んで正しく理解する。 ・三人称単数現在形のs(es)を用いた文、doesを用いた疑問文、doesnotを用いた否定文で書かれている内容を読んで正しく理解する。	・ whatを用いた疑問文や形容詞を用いた文について正しく理解している。 ・ 三人称単数現在形のs(es)を用いた文、doesを用いた疑問文、doesnotを用いた否定文について正しく理解している。	関表理言	○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○
Unit 7 ブラジルから来たサッカーコーチ ・知らない人やものなどについてたずねることができる。 ・時刻などについてたずねることができる。	・積極的に話しかけようとしている。	・who, what time, whichを用いた文を伝えることができる。	・who,what time,which を用いた文を書くことができる。	・相手が言ったことを正しく聞き取り、理解できる。	・who,what time,which を用いた文で書かれている内容を読んで正しく理解する。	・who,what time,which を用いた文について正しく理解している。	関表理言	○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○
Unit 8 イギリスの本 ・どこにあるか、だれのものかをたずねることができる。 ・自分と相手以外の人やものなどについて対話を続けることができる。	・つなぎ言葉などを用いて、話を続けようとしている。	・where,whoseを用いた文や人称代名詞を用いた文を伝えることができる。	・where,whoseを用いた文や人称代名詞を用いた文を書くことができる。	・相手が言ったことを正しく聞き取り、理解できる。	・where,whoseを用いた文や人称代名詞を用いた文で書かれている内容を読んで正しく理解する。	・where,whoseを用いた文や人称代名詞を用いた文について正しく理解している。	関表理言	○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○
Unit 9 チャイナタウンへ行こう ・今していることについて話したり、たずねたりすることができる。 ・相手に何かを禁止したり、注意を促したりすることができる。 道案内 ・徒歩での道順をたずねたり、教えたりすることができる。	・間違いを恐れず、積極的に話そうとしている。	・canのある文やwhenを用いた文を伝えることができる。	・canのある文やwhenを用いた文を書くことができる。	・相手が言ったことを正しく聞き取り、理解できる。	・canのある文やwhenを用いた文で書かれている内容を読んで正しく理解する。	・canのある文やwhenを用いた文について正しく理解している。	関表理言	○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○
Unit 11 思い出の1年 ・過去の出来事について話すことができる。 ・過去の出来事についてたずねることができる。 絵はがき、一般動詞の過去形 Presentation3 思い出の行事	・積極的に体験したことを話したりたずねたりすることができる。	・過去形の文や動詞のedの付け方、不規則動詞、疑問文否定文でdidを用いた文を伝えることができる。(やりとり)) ・3文以上で思い出の行事について伝えることができる。	・過去形の文や動詞のedの付け方、不規則動詞、疑問文否定文でdidを用いた文を書くことができる。 ・既習事項を用いて3文以上で思い出の行事について書くことができる。	・相手が言ったことを正しく聞き取り、理解できる。	・過去形の文や動詞のedの付け方、不規則動詞、疑問文否定文でdidiを用いた文で書かれている内容を読んで正しく理解する。	・過去形の文や動詞のedの付け方、不規則動詞、疑問文否定文でdidを用いた文について正しく理解している。	関表理言	○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○

【学習のポイント】 ①授業を大切にする。集中力・授業準備・活動への参加態度を一生懸命高める。
②教科書やプリントなどにある英文を何度も書いたり読んだりして、理解力を高める。
③手元にある英文を参考にして、自分の考えを書く・音読する練習を十分に行う。
④授業で学んだことを家庭でもよく復習する。
⑤辞書を活用する。